

高齢者の安全運転を支援します

～高齢運転者の交通事故防止に向けて～

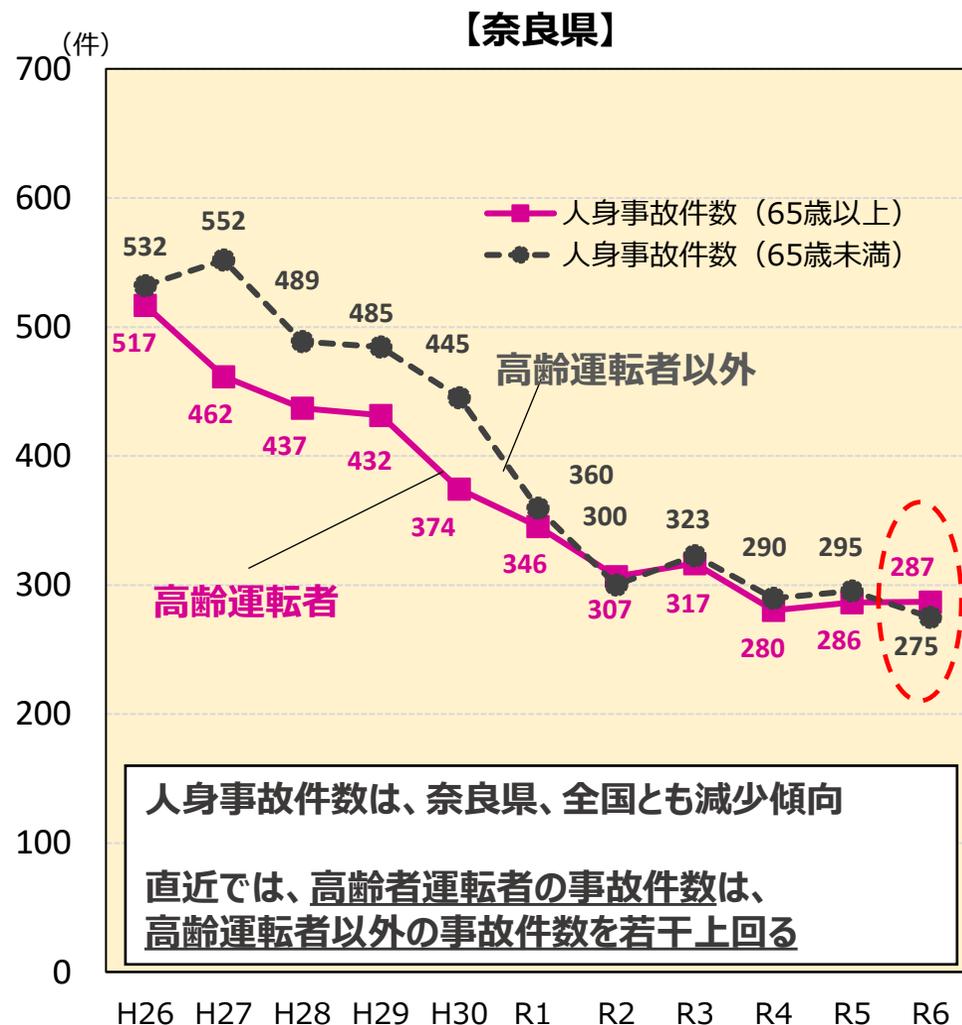
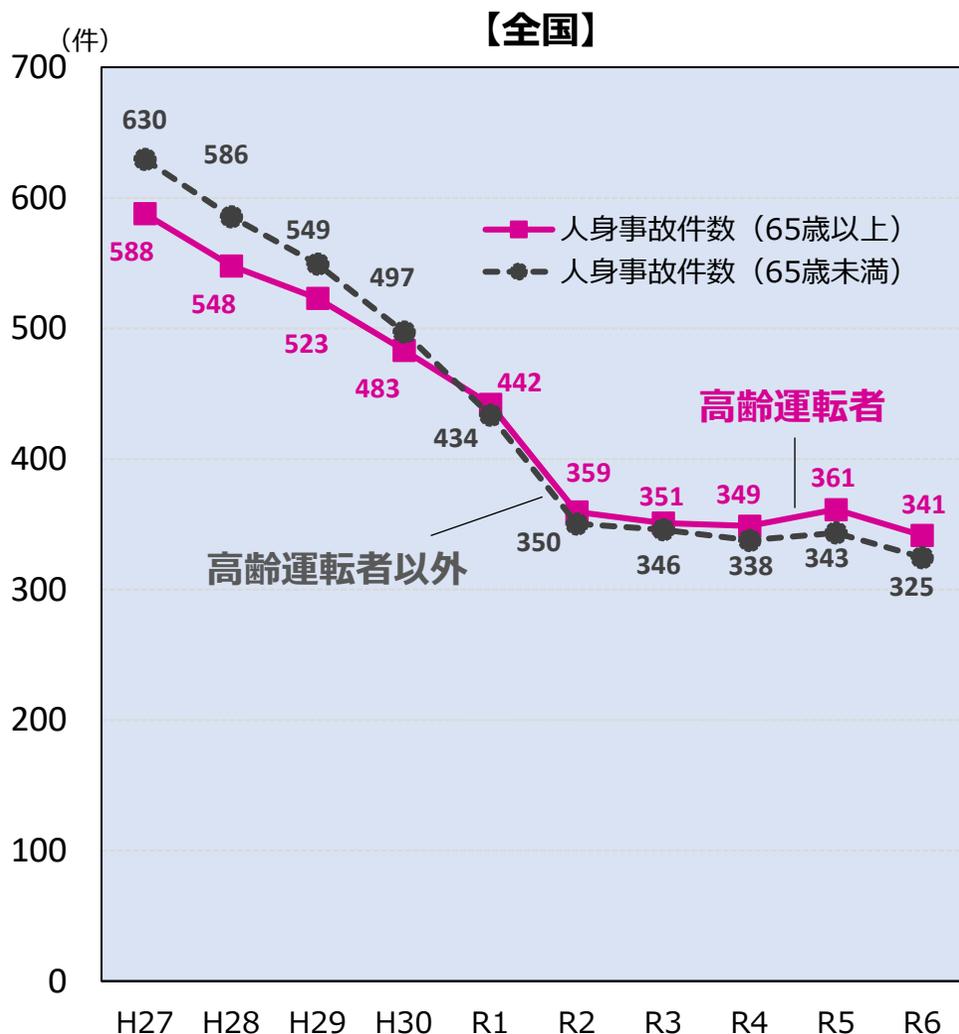
令和8年3月5日（木）

知事定例記者会見資料

地域創造部県民くらし課
染川、松原（内線61272）

高齢運転者による交通事故の状況

人身事故件数（免許人口10万人当たり）の推移（第1当事者・一般原付以上）



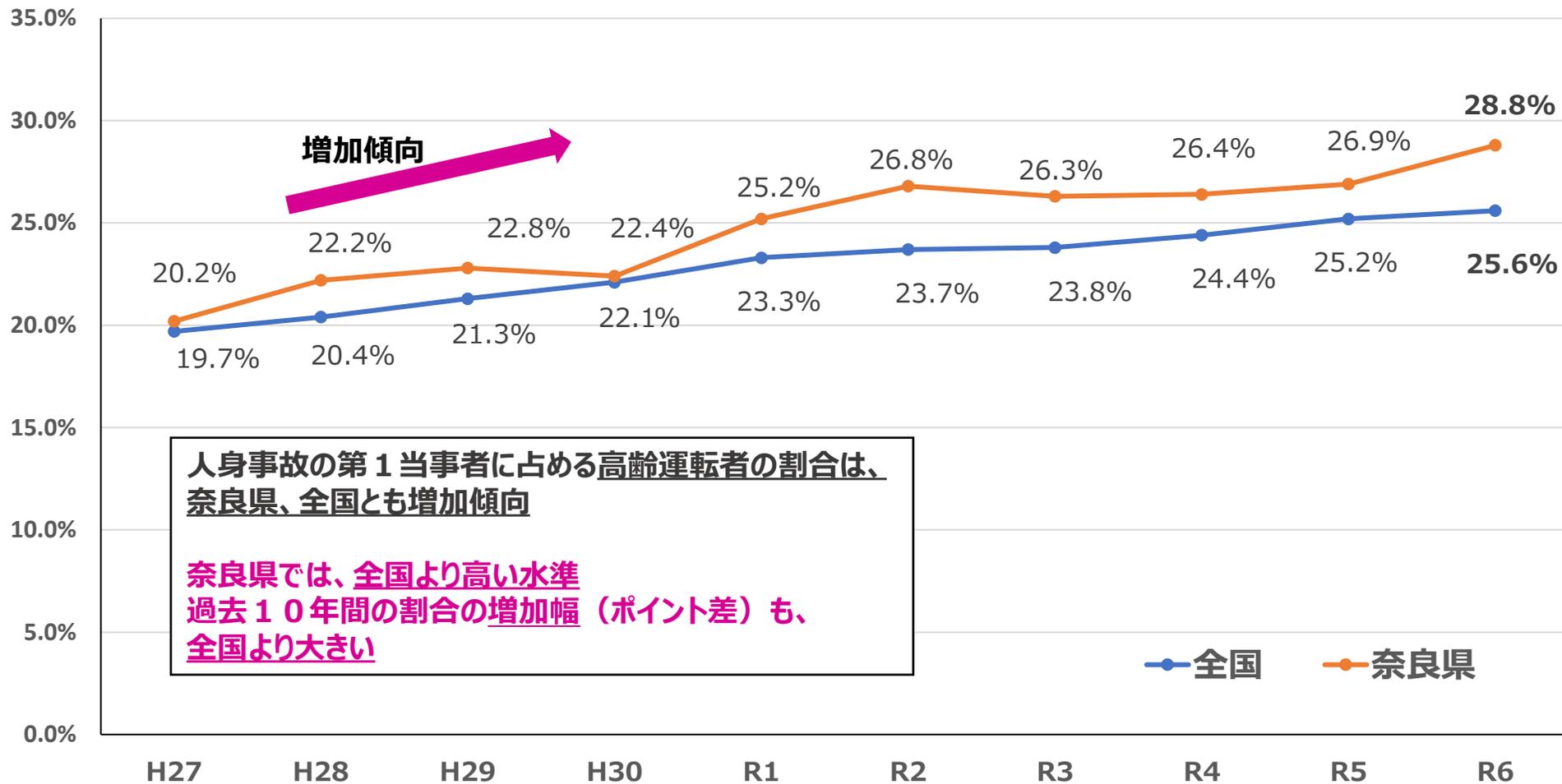
(注) 「人身事故」とは、人の死亡又は負傷を伴う事故をいう。

(注) 「一般原付以上」とは、当事者が「乗用車」「貨物車」「特殊車」「二輪車」をいう。

(注) 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等の運転者又は歩行者のうち当該交通事故における過失が重い者をいい、過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいう。

高齢運転者による交通事故の状況

人身事故における高齢運転者（65歳以上）の構成率（第1当事者）の推移

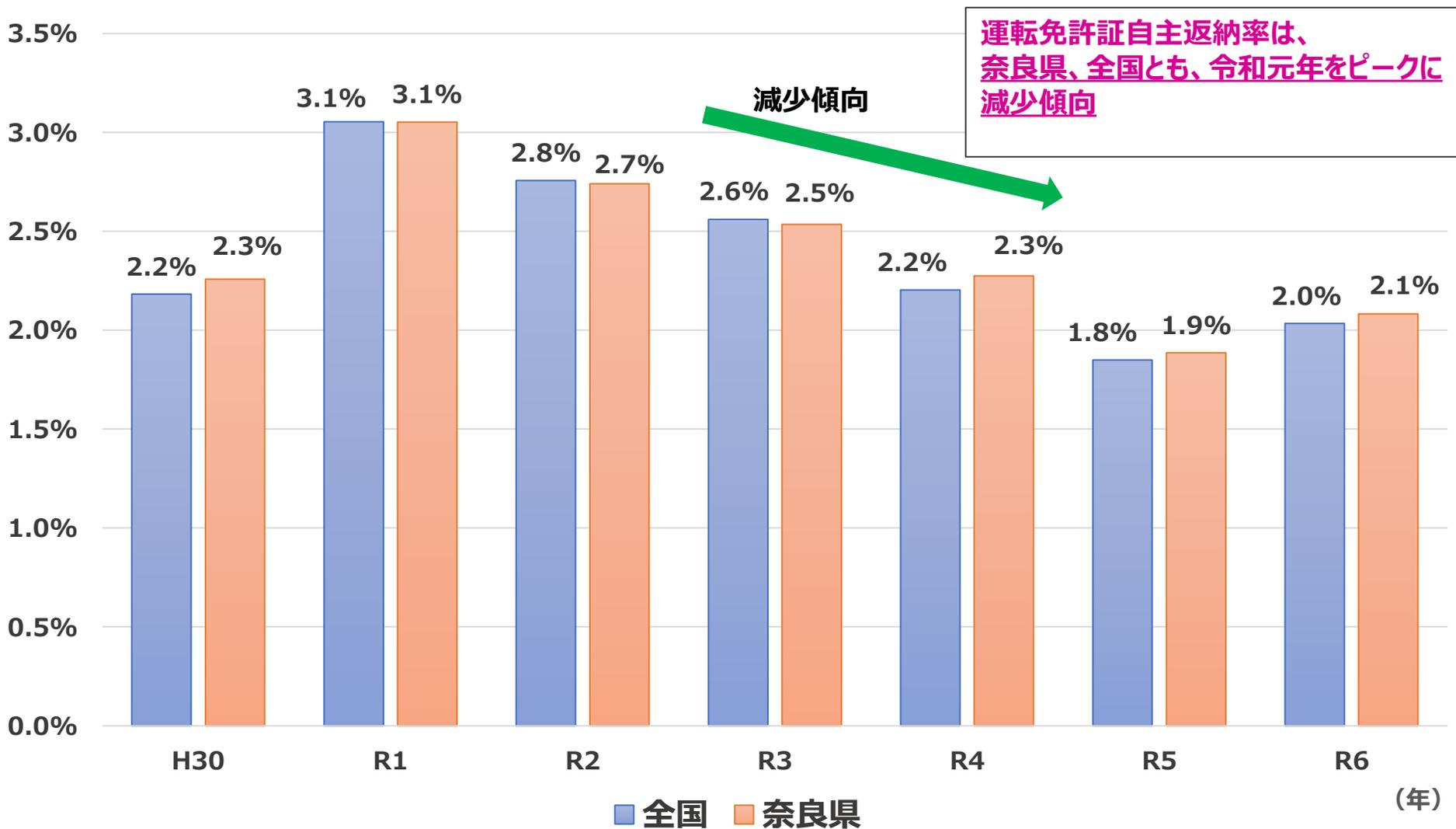


(注) 第1当事者とは、最初に交通事故に関与した車両等の運転者又は歩行者のうち、交通事故における過失が重い者をいう。
また過失が同程度の場合は人身損傷程度の軽い者をいう。

(年)

運転免許証自主返納の状況

高齢者（65歳以上）の運転免許証自主返納率（申請取り消し件数／免許証保有者数）の推移



高齢者安全運転支援事業概要

■ 事業の目的

- ・高齢運転者が起こす交通事故（人身事故）の割合が増加傾向であることから、運転者自身による、運転継続の判断材料を提供することを目的とする。
- ・期待される効果： 運転継続の判断支援 交通安全意識の向上 交通事故防止

■ 事業の概要（R8予算案：6,500千円）

運転診断ツールを活用し、運転能力を可視化。

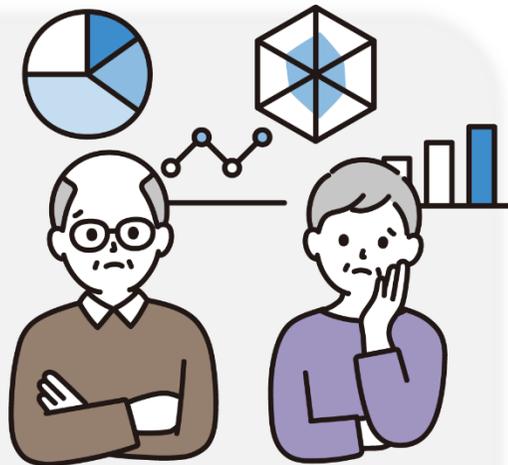
- ・対象：70歳以上の県内在住の運転免許保有者 300人
- ・事業の広報・募集は、県・市町村の広報誌への掲載、運転免許センター・警察署でのチラシの配架等を予定

近畿府県
では初！

◇運転診断ツールの例◇



スマートタグ等で運転時の状況を収集
(速度超過、急加速、急ブレーキ、急ハンドル等)



データ集計
運転能力を可視化
(スコア表示等)



- ・運転継続の判断
気づきの提供により免許返納も検討
- ・安全運転の実施

交通事故防止

■ 今後の予定

令和8年2月議会に所要の予算を提案 ▶ 令和8年7月頃 プロポーザルによる委託業者選定 ▶ 同年10月頃 事業開始（約5ヶ月間）